

New Year Concert 2010

ショパン・イヤー幕開けを飾るニューイヤー・コンサート

今後の活躍が期待される若手ソリスト2人と、
近年ますますそのダイナミックな音楽が話題のヴィルトゥオーゾ清水和音による、
名曲コンサートの決定版

清水和音
©K.Mura

小松長生

魚谷絵奈

加藤えりな

2010年 **1月12日**(火) 午後7時開演

サントリーホール

地下鉄南北線「六本木一丁目」駅、
地下鉄銀座線・南北線「溜池山王」駅、下車
ANAインターコンチネンタルホテル東京(東京全日空ホテル)隣

S席 6,000円 **A席** 5,000円

B席 4,000円 **P席** 2,000円

全席指定・税込 P席はステージ後方の座席です

ショパン: ピアノ協奏曲第1番 (ピアノ: 魚谷絵奈)

メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲 (ヴァイオリン: 加藤えりな)

ショパン: ピアノ協奏曲第2番 (ピアノ: 清水和音)

指揮: 小松長生 管弦楽: 東京都交響楽団

東京都交響楽団

©竹原伸治

お問い合わせ

Sony Music Foundation

<http://www.smf.or.jp>

03-3261-9933 (平日10:00~18:00)

9月24日(木) チケット発売

- 都響ガイド 03-3822-0727
- Sony Music Foundation 03-3261-9933
- サントリーホールチケットセンター 03-3584-9999
- ぴあ 0570-02-9999 (Pコード333-624) <http://t.pia.jp/>
- イープラス <http://epius.jp/>

コンサートの収益金は日本赤十字社へ寄付され、血液運搬車の購入・整備資金に充てられます

主催: Sony Music Foundation (財団法人ソニー音楽芸術振興会) 03-3261-9933 共催: 東京都交響楽団
後援: 厚生労働省 / 日本赤十字社 協賛: ミキモトグループ [株式会社ミキモト / 株式会社御木本真珠島 / 御木本製菓株式会社]
やむを得ず出演者、曲目が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。未就学のお子様のご入場はお断りさせていただきます。開場は開演の30分前です。

MIKIMOTO 日本赤十字社 献血チャリティー・コンサート

献血は、誰か見知らぬ人の、たった一つしかない命の支えに、自分のための血液を分かち合う“命の贈り物”です。

財団法人ソニー音楽芸術振興会 (Sony Music Foundation) では、血液に関する理解を深め、日本赤十字社の活動の一助となるよう、本コンサートシリーズを定期的に開催しております。1999年には「献血思想」の普及や献血推進運動の進歩発展に特に優れた功績のあった個人・団体に贈られる最高の賞である「昭和天皇記念献血推進賞」が日本赤十字社より授与されました。

コンサートの収益金は日本赤十字社へ寄付され、献血された血液を安全に、かつ迅速に必要なとしている患者さんのもとへ運ぶための血液運搬車の購入、整備資金に充てられます。

このコンサートの主旨をご理解いただき、ひとりでも多くの方にご来場いただき、また献血にもご協力いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

財団法人ソニー音楽芸術振興会

清水 和音 (ピアノ)

Kazune Shimizu, piano

1981年ロン＝ティボー・コンクールで優勝、リサイタル賞も受賞した。1982年プラハの春音楽祭に出演。1986年ロジェストヴェンスキー指揮ロンドン交響楽団と共演しロンドン・デビュー、またM.T.トーマスとの共演でレコーディングを行った。1995年から2年にわたり、東京でベートーヴェンのピアノ・ソナタ全32曲演奏会を開催。2004年からショパンの全曲録音を開始。2006年ゲルギエフ指揮マリスキー歌劇場管、2007年にはアシュケナージ指揮NHK交響楽団およびシドニー交響楽団と共演するなど国内外で活躍している。



©K.Miura

魚谷 絵奈 (ピアノ)

Ena Uotani, piano

2003年東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業後、同大学入学。2004年および2005年、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学国際サマーアカデミーにてハンス・ライグラー氏に師事。2006年第13回ブラーム国際コンクール第3位。その後、2007年東京およびバイエルンにてソロ・リサイタルを行う。NHK-BSハイビジョン「びあのピア」にてショパン、ラフマニノフを演奏。2009年、東京藝術大学卒業。現在、伊藤恵、ハンス・ライグラーの両氏に師事。これまでに熊谷恵美子、小林仁、伊藤恵、三木裕子の各氏に師事。



加藤 えりな (ヴァイオリン)

Erina Kato, violin

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業。同大学入学後、パリへ留学。パリ国立高等音楽院、及びヴリー・ギトリス氏の下で学ぶ。ヴァイオリン、室内楽ともにブルミエ・プリを得て同音楽院を卒業。その後もジャン・ジャック・カントロフ、ローランド・ガレイユ両氏の下で研鑽を積み、2004年帰国。現在、ソロ、室内楽、オーケストラなどで幅広く活躍している。ヴェニシア・ジュニア国際コンクール、L.シュポア国際コンクール、R.リピッツァ国際コンクールで入賞及び特別賞受賞。ロン＝ティボー国際コンクールでセミファイナリスト。



小松 長生 (指揮)

Chosei Komatsu, conductor

コスタリカ国立交響楽団芸術監督。米国エクソン指揮者コンクール優勝後、バッファロー管弦楽団エクソン派遣指揮者、ボルティモア交響楽団アソシエート・コンダクター、カナダ・キッチナー・ウォータール交響楽団音楽監督、武生国際音楽祭音楽監督、東京フィルハーモニー交響楽団正指揮者、セントラル愛知交響楽団音楽監督等を経て現職。モントリオール交響楽団、ケルン放送交響楽団、北ドイツ・フィル、モスクワ放送交響楽団などに客演。1994年細川俊夫の「時の深みへ」(世界初演)他を指揮してザルツブルク音楽祭にデビュー。オペラにも意欲的に取り組んでおり、2005年コスタリカ国立オペラの「蝶々夫人」全9公演は「建国以来最高の演奏」(ラ・ナシオン紙)と評された。東京大学美学芸術学科、イーストマン音楽院大学院指揮科を卒業。指揮を伊藤栄一、D・ジンマンに師事。セントラル愛知交響楽団名誉指揮者。



東京都交響楽団

Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

東京オリンピックの記念文化事業として、東京都が1965年に設立。歴代音楽監督は森正、渡邊暁雄、若杉弘、ガリー・ベルティニ。2008年プリンシパル・コンダクターにエリア・フィンバル、レジデント・コンダクターに小泉和裕が就任。定期演奏会などを中心に、ティーンズとの「ジョイントコンサート」、年間60回を超える音楽鑑賞教室など、多彩な活動に取り組んでいる。地方公演、様々なジャンルのアーティストとの共演、多種多様なシーンにあわせたステージ活動、アウトリーチ活動にも積極的である。1991年「京都音楽賞大賞」を受賞。海外公演の実績も高く、「国際都市東京のオーケストラ」として評価を得ている。



©竹原伸治



MIKIMOTO

株式会社ミキモト・株式会社御木本真珠島・御木本製薬株式会社